

## ■ Yサポ誕生！今年度はモデル実施

令和5年6月1日に全国初!!の「保育・教育質向上サポーター事業」がスタートしました。これは、横浜市の保育・教育施設の質向上を推進することを目的とし、自・他園で園内研修や公開保育を援助・コーディネートする地域で活躍する人材を育成する事業です。

モデル実施である今年度は民間園、公立園あわせて6名の保育士のみなさんをYサポとして認定し、早速、第1回連絡会を行いました。連絡会では【公開保育のメリット】について、話しました。話は盛り上がり、「時間が足りない!!」とみなさん。これからの活躍が楽しみです。

### 公開保育のメリット

#### 【園にとって】

「職員間の対話が生まれる」「隣の保育が見える」  
「いいなと思うことをマネして、園全体で保育が楽しくなる」  
「チームワークがよくなる」「保育力がアップする」

#### 【保育士にとって】

「自分を開くことにつながる」「自分を見つめなおす」  
「悩みが共有できる」「気づきをもらえる」「保育の振り返りができる」「保育を言語化できる」 などなど

## ■ 今後の取り組み

今年度は園内研修リーダー研修を担当される学識経験者に随行し、園内研修や公開保育のサポート方法を学びます。また、連絡会や研修会を通して、さらに学びを深めていきます。

## ■ 「Yサポ」とは

認定されたYサポは、保育・教育施設等に訪問し、園内研修や公開保育の企画の相談、実施のサポート等を通して、地域の保育・教育施設の質の向上を支援します。また、Yサポは、同じ目線に立って、お互い学び合いながらサポートを行う実践者です。



- ・ よこはま(YOKOHAMA)
- ・ 横からのサポート(YOKO)
- ・ ワイワイ語り合う(YI)



よこはま保育・教育宣言

# Yサポ始動！



よこはま保育・教育支所

Yサポ(横浜市保育・教育質向上サポーター)が活動を開始しました。横浜市子ども青少年局主催の「園内研修リーダー育成研修」の公開保育実施予定園(1歳児クラス)に関東学院大学の三谷先生が訪問。Yサポ2名が随行して、支援の方法や視点を学びました。先生をよく観察していると学びがたくさん！様子をダイジェストでお伝えします。



## 緊張を解きほぐす！

この日は散歩に行きました。こどもたちの安全を守りながら、保育者と積極的なコミュニケーションを図る三谷先生。まずはこどもや保育者の「緊張を解きほぐす」ことを大切にされていました。

## 公園の環境をチェック！！

公園に着くと子どもたちと遊ぶだけではなく、公園の環境をくまなくチェック！隣の野球場を眺めたり、木の「うろ」をみつけたり…。Yサポも「どんな虫がいるのかな？」「ここではどんな遊びが広がるかな？」と公園をリサーチしました。



## 食事の場面を観察

食事の準備やこどもたちの様子をみながら、部屋の環境構成や保育者の動線をしっかりと観察されている三谷先生。乳児保育の経験も持つYサポたちは、保育者の目線から「こうしたらいかな？」と考えていました。



## 保育者との対話時間

昼寝時間にクラス担任と園長、三谷先生、Yサポとみんなで机を囲んで対話の時間がはじまりました。

三谷 「さあ、どうしたい？」

保育者 「室内の環境構成を考えたい」

三谷 「こどもの“好き”から考えよう」

すると、電車、ままごと、ブロック…などなど“好き”がたくさん出てきました。

Yサポも一緒になって考えました。

## 一緒に考える

ウェブを描いたり実際に部屋の家具を移動させてみたり、保育者と一緒に考えていました。



## わくわく！！

話しているうちに保育者たちからも「こうするといいね」「やってみよう！」と前向きな言葉がかけられました。最後には「わくわくしてきたね！」と楽しそうでした。



## 本日のYサポの感想

「三谷先生は保育者の本音やわくわく感を引き出していました。第三者が入ることで、自園だけではなかった気づきがたくさん得られますね。」  
ゆうゆうのもり幼稚園 藤原先生(左)

「支援のポイントを教えてもらいました。答えは1つじゃないので教えるのではなく、その園にあったやり方を一緒に考えていくことが大切ですね。」

横浜市釜利谷保育園 奥住先生(右)



他4名のYサポの皆さんも、公開保育実施園への講師の随行をします。今後の様子やYサポさんの感じた学びや気づきをお伝えしていきます。お楽しみに！



今回も横浜市こども青少年局主催の「園内研修リーダー育成研修」公開保育実施予定園(4歳・5歳児)に聖心女子大学の高嶋先生が2回目のご訪問をしてくださいました。Yサポ2名が随行し、支援の方法や園の先生方を支える視点を学びましたのでその様子をお伝えします。

## ☞ 2回目の訪問

2回目の訪問となったこの日は、1回目と比べてこどもたちがじっくりと遊んでいました。また室内環境も大きく変化していました。高嶋先生とYサポで共有しながら見学していきます。



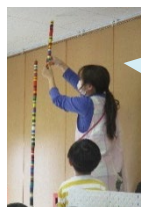
## ☞ 園の変化

1回目の高嶋先生やYサポの訪問を受けて、園の皆さんは他園を訪問に行ったり、それを参考に環境について話し合いの機会を持っていました。このような積極的な取り組みが変化につながっています。



## ☞ 保育者のかかわり

こどもたちがゆったりと好きな遊びを楽しむ環境となったことで、保育者のかかわり方も変化が見られました。Yサポも同じ保育の実践者として、「このかかわりによって、こどもたちの遊びが広がったね」と保育者の良いところをたくさん見つけていました。



## ☞ 振り返り

高嶋先生が撮影してくださった写真を見ながら、その日のこどもの姿や遊びの展開、1回目からの変化を園のみなさんと共有していきます。園の先生方も1回目の訪問後の工夫や変化について積極的に語りながら、みんなで考えていきます。



## ☞ 次回に向けて

高嶋先生からこどもたちの遊びがさらに展開するように環境の工夫を考えることなどのアドバイスをいただきました。次は公開保育です。Yサポもさらなる変化に期待いっぱいです！



## Yサポの活動について、Yサポ2名と高嶋先生にインタビュー！！

2回目の訪問でとても園が変化していることがうれしかったです。Yサポとして高嶋先生から毎回たくさんのことを学びながら、他園の保育をじっくり見ることができています。この経験は、普段「当たり前」だと自分が考えていたことを見直すきっかけにもなり、貴重な機会となっています。

神ノ木保育園 Yサポ



Yサポとして高嶋先生の支援の方法を間近で見せてもらい、とても勉強になっています。またサポートしている園が変わっていく姿がうれしいです。この経験を生かして自分の園でもYサポとしてクラス会議に参加して、サポートできるようになりました。

横浜市永田保育園 Yサポ



## ☞ Yサポ随行の効果

Yサポの方々が同行してくださることで、複数の視点で実施園の保育を見ることができ、その分、気づきも多くなります。

また、Yサポの方々が同じ保育の実践者としての立場からお話いただくことは、現場に寄り添ったものであると感じています。

聖心女子大学 高嶋先生



次号はいよいよ公開保育当日のYサポの様子をお伝えします